

**令和4年度
事業報告**

社会福祉法人 津市社会福祉協議会

目 次

はじめに	-----	1
重点目標	-----	2
事業報告		
I 法人運営事業		
1 円滑な法人運営	-----	3
2 人材育成	-----	5
3 第2次発展・強化計画の推進	-----	7
4 情報公開の実施状況	-----	7
5 広報・啓発の充実	-----	7
II 地域福祉事業		
1 地域福祉推進体制の強化	-----	7
2 第3次津市地域福祉活動計画の推進	-----	8
3 小地域福祉活動事業の推進	-----	9
4 地域福祉教育推進事業	-----	14
5 津市ボランティアセンターの運営	-----	16
6 一般介護予防事業	-----	18
7 地域福祉推進事業	-----	19
8 福祉団体等への支援	-----	21
9 管理運営事業	-----	23

Ⅲ 生活支援事業

1 日常生活自立支援事業	2 4
2 生活困窮者自立相談支援事業	2 5
3 生活困窮者家計改善支援事業	2 9
4 成年後見サポートセンター事業	2 9
5 生活福祉資金貸付事業	3 0
6 生活困窮者対策支援事業	3 2

Ⅳ 介護サービス事業

1 介護保険サービス	3 3
2 障がい福祉サービス	3 4
3 地域包括支援センター事業	3 5
4 要介護認定調査事業	3 6

Ⅴ 収益事業

1 自動販売機の設置	3 7
------------	-----

巻末資料	3 8
------	-----

はじめに

長きにわたり続いたコロナという経験のない災禍のもとで、少子化・高齢者世帯や一人暮らし高齢者の増加、コロナ禍による孤立等からの生活不安は増大し深刻化しました。そして、その背景には、地域社会の繋がりや、地域に対する関心の希薄化の問題があります。

このような状況の中、令和4年度も「第3次津市地域福祉活動計画」に基づき誰もが安心して暮らせるまちづくりの実現に向け、地区社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会、関係機関や各福祉団体、津市との連携を深め各種事業の推進に取り組みました。

生活支援分野においては、効率的かつ効果的な経営等のため、拠点化を推進し2拠点体制とし事業の充実を図りました。

地域福祉分野においては、地域福祉事業にかかるエリア設定を行い、これまで以上に地域に寄り添い支援が進められるようにエリア単位での事業展開を図りました。エリアや支部のガバナンスの強化並びに職員の意識改革・意欲向上を図るため、各エリアや複数の業務を所管する総括的支部については、管理職（支部長職）を配置し権限を強化しました。

また、本会の経営基盤の強化と事業の充実を図るには、財政基盤の強化が不可欠であることから、健全経営に向け、各種事業の見直しや多角的な資金の調達を図るため、新たにファンドレイジングの取組みをはじめました。

以下、令和4年度の事業計画に掲げた重点目標の推進状況や事業区分ごとの取組みについて報告します。

重点目標

1 経営基盤の強化

安定的かつ効果的な地域福祉の推進と持続可能な経営基盤の構築を図るため、「経営改善等に関する方針」に基づき、組織体制の見直し（支部業務のエリア化、生活支援業務の拠点化等）や、財務体質の改善に向けての取組み（津市との補助金・委託金の適正化に向けての協議、不採算事業等の見極め・整理の推進、ファンレイジングの推進に向けての取組み）等、各種の経営改善に係る取組みを進めました。

2 地域の見守り体制の充実

新型コロナウイルスの拡大が拍車をかけた人と人との繋がりの希薄化による孤立等の懸念に対し、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し、早期発見・早期対応のための見守り活動の充実に向け、福祉団体や関係機関等の多様な主体と連携を図り、令和3年度に作成した「見守り・つながりガイドブック」等を活用しながら、それぞれの地域性に応じた見守り活動の推進に取り組むとともに、研修会等の機会を通じ、「見守り活動」の重要性を再発信しました。

また、コロナ禍によって福祉活動が途切れてしまっていた地域においては、サロン等の「集いの場」の活動再開に向けた支援を行う等、地域における繋がりづくりに取り組みました。

3 地域福祉教育の推進

福祉協力校の指定や福祉出前講座を実施し、学校における福祉教育を支援しました。地域においては、子どもの学習支援活動や子ども食堂への支援等、子どもに関する課題の解決に向けた取組みを地域住民、ボランティア団体及び福祉団体等とともに進めました。また、地域の福祉課題を地域住民と共有し、課題の解決に向けて住民と共に学びを深めることにより、福祉教育を推進しました。

4 相談支援体制の充実

高齢者や障がい者、生活困窮者等の様々な福祉課題・生活課題に対応し、地域住民の生活を支えるため、保健・医療・福祉等の専門機関等と連携・協働し、課題解決に繋がる支援に努めました。

また、事業の拠点化を進め、各種研修への参加を積極的に行うことで、相談支援体制の強化と専門性の向上を図りました。

事業報告

Ⅰ 法人運営事業

1 円滑な法人運営【重点目標1関係】

法人の意思決定や合意形成の場として、理事会・評議員会をはじめ、各種会議を開催して協議・決定を行い、円滑な法人運営に努めました。

また、法令等の改正に応じた本会規程等の改正を行い、その他の規程等についても適宜見直しを行うことにより、法令遵守に努めました。

財務面においては、恒常的に発生している経営赤字状態からの早期脱却を図るため、経営の基本的な方針の見直しを行い、本会の主な財政援助元である津市との協議に臨みました。昨年に引き続き、協議において「人事・経営管理に関する事項」、「職員定数管理」、「組織の活性化」、「財務体質の改善、事業改革」といった法人構造の抜本的な見直しに係る項目の洗出しと改善のための推進を行った結果、赤字改善に係る課題点を津市と共有することができ、結果として受託事業に係る算定根拠の見直し等を実施していただくことができました。次年度以降についても、引き続き、津市をはじめとする関係機関と、財務状況の改善へ向けた協議を継続していきます。

(1) 理事会・評議員会等の開催

法人としての意思決定や合意形成の場としての理事会及び評議員会等の開催により、法人の業務執行に関する事項を協議・決定しました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面決議により開催した回もありました。

ア 理事会の開催

回数	開催日	開催場所
第1回	5月6日(金)	開催を省略し、書面による同意を得ることにより、理事会の決議があったものとみなされたもの(左記は決議があったものとみなされた日)
第2回	6月3日(金)	津市サンヒルズ安濃
第3回	9月13日(火)	津南防災コミュニティセンター
第4回	12月13日(火)	津市サンヒルズ安濃
第5回	3月14日(火)	津市サンヒルズ安濃

※各理事会の審議事項及び出席者数は、巻末資料のとおりです。(P38～40)

イ 評議員会の開催

回数	開催日	開催場所
第1回	5月24日(火)	開催を省略し、書面による同意を得ることにより、理事会の決議があったものとみなされたもの(左記は決議があったものとみなされた日)

第2回	6月27日(月)	津市芸濃庁舎
第3回	9月27日(火)	津市芸濃庁舎
第4回	12月23日(金)	津市サンヒルズ安濃
第5回	3月23日(木)	津市サンヒルズ安濃

※各評議員会の審議事項及び出席者数は、巻末資料のとおりです。(P40～41)

ウ 評議員選任・解任委員会の開催

回数	開催日	開催場所	審議事項
第1回	6月16日(木)	津センターパレス	・社会福祉法人津市社会福祉協議会評議員の選任について
第2回	9月26日(月)	津センターパレス	・社会福祉法人津市社会福祉協議会評議員の選任について
第3回	12月21日(水)	津センターパレス	・社会福祉法人津市社会福祉協議会評議員の選任について

エ 監事会、内部監査の開催

監査名	開催日	開催場所	監査事項
内部監査	5月13日(金)	津センターパレス	・令和3年度事業及び会計決算の監査について
監事監査	5月19日(木)	津センターパレス	・令和3年度事業及び会計決算の監査について

(2) 財政の健全化【重点目標1関係】

ア 会員の加入促進による自主財源の確保

貴重な自主財源である会費について、関係事業者及び各種福祉団体に対し、会員募集のチラシを刷新して配付する等、積極的に周知・依頼を行い、加入促進を図ることで、前年対比で会員数は増加となりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響から、例年加入いただいている関係事業者等からの賛同が得られなかったケースもあり、前年対比で金額は減少となりました。個人、団体等を合わせ590件(前年度実績550件)の賛同を得て、会費納入金額は1,309,000円(前年度実績1,319,000円)であり、小地域福祉活動支援事業、心配ごと相談事業、外出支援サービス事業、地域福祉活動計画推進及びボランティアセンター事業等の財源に活用しました。

	件数	金額
個人	390件	439,000円
団体・法人	200件	870,000円
合計	590件	1,309,000円

イ 各種基金・積立資産の安全な運用

津市社会福祉協議会資金管理及び運用基準に基づき、大口定期貯金及び地方債により、

元本保証性を最優先とした資産運用に努めました。

ウ ファンドレイジングの推進

社会福祉事業の振興のための資金調達（ファンドレイジング）の推進を図るため、組織を横断してメンバーを集め準備チームを組織しました。専門家にアドバイザーとして助言をいただきながら定例会議を開催する等、ファンドレイジング実践に向けた準備を進めています。

2 人材育成【重点目標1関係】

階層別研修については、令和4年度職員研修年間計画に基づき、入社後5年未満の職員と昇格した職員に対する研修として、内部研修及び三重県社会福祉協議会の実施するキャリアパス対応生涯研修に参加し、職員の資質向上に努めました。

専門研修については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止になった研修もありましたが、インターネット環境を整えたことでオンライン開催での参加が可能となり、専門知識の習得に繋がりました。

普通救命講習については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施を見送りました。

ア 階層別研修

研修名	開催日	開催場所	内容、出席者数
新任職員 研修 (4月1日 及び5月1 日採用)	4月1日(金) ～5日(火)	津センターパレス	<ul style="list-style-type: none"> ・就業心得、組織体制等について ・会計の概要と予算管理について ・地域福祉事業について ・生活支援事業について ・介護保険サービス事業について 内部講師：総務課・地域福祉課・生活支援課・介護サービス課職員 (参加者数：4月1日採用の職員4人)
	5月2日(月) ～9日(月)	津センターパレス	<ul style="list-style-type: none"> ・就業心得、組織体制等について ・会計の概要と予算管理について ・地域福祉事業について ・生活支援事業について ・介護保険サービス事業について 内部講師：総務課・地域福祉課・生活支援課・介護サービス課職員 (参加者数：5月1日採用の職員1人)
	8月30日(火)	津センターパレス	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修「ハンセン病問題の歴史と課題～問われるコロナ禍の人権～」 講師：三重インターナショナルスクール 岩脇宏二氏

			(参加者数：職員5人)
	1月31日(火)	津センターパレス	・テーマ「チームワーク」 内部講師：主事4年目職員 (参加者数：職員5人)
一般職員 研修A (主事A)	10月18日(火)	津センターパレス	・職員としての基本姿勢について 内部講師：総務課長 (参加者数：職員7人)
一般職員 研修A (主事B)	1月31日(火)	津センターパレス	前記1月31日(火)の新任職員研修の 講師を務める。 (参加者数：職員4人)
一般職員 研修A	11月16日(水) ～17日(木) 又は 11月29日(火) ～30日(水)	三重県社会福祉会 館	・三重県社会福祉協議会のキャリアパス 対応生涯研修課程「初任者コース」 を受講 (参加者数：職員3人)
一般職員 研修B	9月8日(木) ～9日(金) 又は 9月14日(水) ～15日(木) 又は 9月27日(火) ～28日(水)	三重県社会福祉会 館	・三重県社会福祉協議会のキャリアパス 対応生涯研修課程「中堅職員コース」 を受講 (参加者数：職員8人)
一般職員 研修C	8月4日(木) ～5日(金)	三重県社会福祉会 館	・三重県社会福祉協議会のキャリアパス 対応生涯研修課程「チームリーダ ーコース」を受講 (参加者数：職員1人)
一般職員 研修D	1月26日(木) ～27日(金)	オンライン開催	・三重県社会福祉協議会のキャリアパス 対応生涯研修課程「管理職員コース」 を受講 (参加者数：職員2人)

イ 専門研修

研修名	開催日	開催場所	内容、出席者数
専門研修	5月24日(火)	津センターパレス 及びオンライン開 催	・人事考課の基礎知識 ・考課事例を用いたグループワーク 講師：ダイ・マンパワーマネジメ ント 大地 勉氏 (出席者数：職員29人)

ウ その他の研修

研修名	開催日	開催場所	内容、出席者数
普通救命講習	新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止		
安全運転講習	2月27日(月)	津センターパレス及びオンライン開催	・安全運転に関する講話及び制度改正について (参加者数：職員11人) ※その後、各部署にて伝達研修を実施

3 第2次発展・強化計画の推進【重点目標1関係】

第3次津市地域福祉活動計画を人材・財源等の面から支援（バックアップ）する発展・強化計画について、第2次計画の4年目として目標の達成に向け取り組みました。

策定項目ごとの取組状況評価については、理事会において進捗状況を確認し、今後の推進等について協議しました。

4 情報公開の実施状況

社会福祉法人津市社会福祉協議会情報公開に関する規程に基づく、令和4年度の情報公開の申請及び開示状況は、以下のとおりです。

(単位：件)

	申請件数	全部開示件数	一部開示件数	不開示件数
件数	0	0	0	0

5 広報・啓発の充実

広報誌の発行（春号・夏号・秋号・新春号・臨時号の年5回）、ホームページ（1年間のアクセス数60,951回）の活用により、地域の福祉活動や本会の事業に関する情報を幅広く提供しました。

また、マスコットキャラクター「こころん」のバリエーションを増やし、広報物への掲載やグッズの配付により、啓発に努めました。

II 地域福祉事業

1 地域福祉推進体制の強化

(1) 生活支援体制整備事業【重点目標2関係】

高齢者等の生活支援・介護予防体制の基盤整備に向け、地域包括支援センター等の関係機関との情報交換や個別の生活相談への対応の他、地域の集まり等に出向くことで、地域の状

況把握に努めるとともに、把握した課題については、「話し合いの場」等を通じ、地域の方々とともに解決に向けた協議を行いました。

その中で、コロナ禍によって活動が途切れてしまっていた地域においては、多様な関係機関・団体等とのネットワークを強化し、様々な地域福祉活動の再開に向けた支援を行い、地域における繋がりづくりに取り組みました。

また、新型コロナウイルスの拡大が拍車をかけた人と人との繋がり希薄化による孤立等の懸念に対し、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し、早期発見・早期対応のための見守り活動の充実に向け、令和3年度に作成した「見守り・つながりガイドブック」等を活用しながら、それぞれの地域性に応じた見守り活動を推進するとともに、地域に根差した好事例の他地域への波及を目指し、生活支援コーディネーター通信等により情報発信を行いました。

ア 生活支援コーディネーター通信の発行 6回

イ 地域支援回数

第1層（津市全域）718回、第2層（日常生活圏域）2,740回

ウ 地域ケア会議への出席 第1層36回、第2層77回

（1・2層間、2層間の重複あり）

エ 地域包括支援センターと社協の情報交換会の開催 22回

オ 地域の「話し合いの場」への参加 第1層31回、第2層69回

（1・2層間の重複あり）

カ 生活支援体制整備事業研修会の開催

開催日：令和4年8月10日（水）

開催場所：津市美里社会福祉センター及びオンラインのハイブリッド型開催

参加者：29人（うちオンライン14人）

テーマ：このまちでつながり続ける～つながり、再始動（リスタート）～

2 第3次津市地域福祉活動計画の推進

（1）事務事業評価の実施

本会の活動の進捗状況を定期的に検証し、地域住民のニーズに対応した効果的・効率的な事業運営を図り、第3次津市地域福祉活動計画に基づいた活動を推進するために事務事業評価を実施しました。

実施時期：3月末

評価事業区分：42事業区分

主な評価項目：事業目的、目標と実績、成果と課題、評価、今後の方向性

（2）策定推進委員の意見集約

計画の着実な推進と実効性を担保するため、津市地域福祉活動計画策定推進委員会を開催し、第3次津市地域福祉活動計画の推進に係る検討を行いました。

開催日	事項等
5月31日（火）	委員長の選任について

	策定推進委員会設置要綱の一部改正について 情報共有（コロナを踏まえた地域福祉活動の状況） 協議事項 第3次津市地域福祉活動計画事務事業評価について 今後の方向性について
--	--

3 小地域福祉活動事業の推進

(1) ふれあい・いきいきサロン事業（津市受託）

ア ふれあい・いきいきサロン活動支援

ふれあい・いきいきサロンが、高齢者や障がい者、子育て中の親子等、誰もが楽しく気軽に行ける「地域の居場所」として、交流や介護予防、地域の絆づくり及び見守り活動に繋がるように支援しました。

また、サロン運営者と協議し、コロナ禍においても継続的な見守り活動や閉じこもり防止に繋がるように支援しました。

地域	本会把握 サロン数	活動運営助成金 申請サロン数	新規立上助成 申請サロン数
津	100	70	2
久居	86	38	5
河芸	31	6	0
芸濃	32	15	0
美里	14	11	1
安濃	24	20	1
香良洲	6	3	0
一志	25	10	0
白山	33	8	0
美杉	37	29	1
合計	388	210	10

イ ふれあい・いきいきサロン

本会事業としてふれあい・いきいきサロンを5支部地域で開催しました。

(単位：回/人)

	芸濃	香良洲	一志	白山	美杉	合計
回数	98	205	24	60	146	533
参加者数	615	2,531	224	827	718	4,915

ウ ふれあい・いきいきサロン講習会・交流会

ふれあい・いきいきサロンに携わる方たちが、より主体的で活発な活動ができるように、

サロンで使えるレクリエーションを学べる講習会を開催しました。

研修名	開催日	開催場所	内容、参加者数
レクリエーション講習会	7月28日(木)	津市芸濃総合文化センター	サロンで使えるレクリエーション 講師：三重県レクリエーション協会 平松氏、平生氏
	7月29日(金)	津市高茶屋市民センター	フレイル予防 講師：津市職員 (参加者数：延123人)

エ ふれあい・いきいきサロン食品衛生講習会の開催

ふれあい・いきいきサロンにおける「食品の取扱い」について学び、継続的に安心して楽しくサロンに取り組むことを目的に開催しました。レクリエーション講習会と合わせて実施し、より多くの方に参加いただきました。

研修名	開催日	開催場所	内容、参加者数
ふれあい・いきいきサロン食品衛生講習会	7月28日(木)	津市芸濃総合文化センター	サロンにおける食品の取扱いについて 講師：三重県津保健所職員 (参加者数：延123人)
	7月29日(金)	津市高茶屋市民センター	

(2) 子育て支援推進事業

子育て中の親子が地域で孤立することなく安心して暮らせるように交流会や関係機関とのネットワーク会議等を開催し、地域の実状に応じた子育て支援活動を推進しました。

支部名	開催日	開催場所	内容、参加者数
津市全域	8月1日(月)	津市サンヒルズ安濃	子どもの発達に不安のある保護者とその子どもを対象に、音楽療法やゲーム等を通じた交流会「いっぱい笑っていっぱい遊ぼう」を開催しました。 (参加者数：延62人)
	8月24日(水)	津市久居総合福祉会館	
	3月30日(木)		
白山	6月21日(火)	津市白山保健福祉センター	子育て中の親子を対象とした情報交換の場づくりや、発達に不安を感じる児童・親への支援を目的とした、保健・医療・教育・福祉関係者による勉強会・講座を継続的に行い、「途切れない支援」に向けた子育て支援ネットワーク事業を行いました。 (参加者数：延35人)
	10月18日(火)		
	12月20日(火)		
	2月21日(火)		

(3) 要援護者対策地域見守りネット活動（絆のバトン）事業（津市受託）【重点目標2関係】

70歳以上のひとり暮らし高齢者等に対し、地区社会福祉協議会（以下「地区社協」という。）を通じて、絆のバトンの配付及び継続的な見守り活動を行うことで地域福祉活動を推進

しました。

ア 事業の実施

33地区社協（北立誠、南立誠、敬和、養正、修成、育生、新町、南が丘、白塚、栗真、一身田、津西、片田、神戸、藤水、高茶屋、雲出、大里、高野尾、豊が丘、榊原、栗葉、戸木、桃園、誠之、芸濃、美里、草生、村主、安濃、明合、香良洲、一志）で実施されました。利用者は、令和3年度より192人増え、5,240人の利用がありました。

イ 絆のバトン説明会

地域における見守り活動の必要性について理解を深めていただくため、地域の依頼に応じて説明会や研修会を32回開催し、707人の参加がありました。

ウ 地域見守り推進研修会

地域住民及び福祉関係者対象の研修会を開催し、地域の自主的な見守り支援体制づくりの促進に努めました。

研修名	開催日	開催場所	内容、参加者数
榊原暮らしを支える見守り研修会	5月27日(金)	津市立榊原小学校 体育館	みんなでつくる見守りのまち榊原 講師:広島文教大学教授 菅井直也氏 地区別協議:各区の台帳やマップを確認し状況等意見交換 (参加者数:64人)
地域見守り推進研修会	3月9日(木)	津市美里社会福祉 センターホール (オンラインとの ハイブリッド開催)	見守り活動の始め方 講師:一般社団法人コミュニティーネットハピネス代表理事 土屋幸己氏 (参加者数:87人)

(4) 福祉啓発事業(各種イベント等への参画)

津市内の各地域で行われるイベント等において、異世代間の交流や本会事業の紹介、赤い羽根共同募金の啓発等に努めました。

また、地域福祉課、久居・芸濃・安濃支部では、赤い羽根共同募金古本バザーを実施し、共同募金の仕組みや地域での活用方法について啓発を行いました。芸濃・安濃・美里支部では、津市社協マスコットキャラクターの「こころん」人形を活用した、本会事業及び共同募金の啓発を行いました。白山支部では地区社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会と協働し、フレイル予防の啓発を行いました。

支部名	参加事業	主な内容
地域福祉課 (津地域)	津まつり、雲出フェア	共同募金啓発(ゲームコーナー)
久居	久居まつり	共同募金啓発(古本バザー、お菓子釣りゲーム)
	誠之地区福祉バザー	共同募金啓発(古本バザー)
河芸	津うきた福きたカムカムフェスタ2022	共同募金啓発(オリジナル缶バッジづくり、バルーンアート)

香良洲	ふれあいのかおり	本会事業及び共同募金啓発（ウェットティッシュ配布）
一志	映画上映会	本会事業啓発（ティッシュ配布）
美杉	みすぎ秋まつり	共同募金及びイエロースマイルプロジェクト啓発（ゲームコーナー）

（５）その他の小地域福祉活動推進事業

第3次津市地域福祉活動計画における地区別福祉プランを推進し、地域の課題に合わせて小地域における福祉活動がより推進されるように、以下の取組みを行いました。

また、企業、団体と関係性を構築し、地域課題解決に向けての取組みを支援しました。

地域	取組事業	主な内容
津市全域	子ども食堂等活動団体の支援	子ども食堂等の活動団体へ、各種コーディネートにより支援するとともに、企業・団体と連携してお菓子やお米、野菜を配布しました。
	生活困窮者等支援事業	生活困窮者等に緊急一時的な食糧支援ができるように整備し、自立への足掛かりとなるように支援しました。
	食糧配布及び生活相談事業	ひとり親家庭を対象に食品配布と生活相談を実施しました。
	地域課題解決活動支援事業	子育て課題の解決に取り組んでいるモデル的な団体に対し、物品支給による支援を行いました。
久居	学習支援事業「まなびば」	自宅での学習が困難な生活困窮世帯や、学校や家庭以外で居場所が無い子どもを対象に、自主学習の場の提供や地域の大人や学生たちとの対話・交流の場づくりを行いました。また、教員を目指す学生を中心にボランティアを構成し、活動の場を作りました。
	地区社協研修会	「福祉協力員について」「見守り活動について」等、地域ニーズに応じて地区社協を対象に研修会を実施しました。
芸濃	芸濃地域のふくしを考える会	芸濃地域で活動する福祉に関わる様々な団体が相互に連携しながら解決していくためのネットワークづくりを推進しました。

	芸濃地域サロンネットワーク会議	コロナ禍でも楽しめるレクリエーションを学び、グループワークによる情報共有を行いました。
美里	ふれあい・いきいきサロン交流会	ふれあい・いきいきサロン代表者に集まいただき、意見交流や情報共有を行いました。
香良洲	スマホセミナー	地域行事への参加が少ない高齢の男性を対象にスマートフォンセミナーを開催し、地域行事への参加のきっかけづくりを行いました。
一志	とことこ教室	新型コロナウイルスの影響で外出の機会が減少している高齢者等を対象に、健康体操・脳トレ等を実施しました。
白山	地域福祉活動検討会、白山地域の福祉を考える会	関係機関・団体が「見える化」「具体化」をテーマに課題を共有し、目指す地域像や課題別展開を検討する「地域福祉活動検討会」と協働し、住民の声を聴き、課題を共有し、活動を生み出すため話し合いの場をもちました。
	交流会・研修会	「ふれあい・いきいきサロン交流会」等を開催し、交流会ではサロン再開に向けた相談が増加していることを踏まえ、改めてサロン活動の効果と必要性を伝え、更にフレイル予防の場づくりの視点とふれあいの場づくりの関連性を意識したメニュー提案をしました。
	小地域サロン立ち上げ・活動支援及び介護（フレイル）予防における運動の場づくり	公共施設等の拠点場所から遠い地域に目を向け、地域課題の共有を図りながら、健康づくりに特化した団体との連携を強化しました。また、「スタスタ大作戦INはくさん」の一環としてフレイル予防推進の応援団づくり（ボランティアスクール）を3回にわたり開催し、おためしサロンが3か所で行われました。
美杉	障がい者との交流会～ハロウィン交流会～	作業所利用者と生活支援ハウス入居者を対象にハロウィン交流会を行いました。

	イエロースマイルプロジェクト	「介護の日」を切り口に、自宅等で介護をしている方や、地域で助けあいをしている方に感謝の気持ちを手紙にして贈る取り組みを行いました。
--	----------------	---

4 地域福祉教育推進事業【重点目標3関係】

地域の福祉課題について考え、地域福祉活動やボランティア活動を通じて子どもたちや地域住民の福祉意識を高める機会を設けました。

ア 福祉出前講座等の推進

子どもから高齢者まで幅広い年齢層の地域住民を対象に、福祉意識を高めるための福祉出前講座（延47回、延1,637人）を実施し、障がいのある方との出会い学習や車いす体験、アイマスク体験等を通じて自分たちにできることを考え、福祉意識の向上に努めました。

また、ユニバーサルデザイン連絡協議会やボランティア団体と連携し、ユニバーサルデザイン講座を実施しました。

地域	件数	対象	主な内容
津	13	小学生 中学生 高校生	<ul style="list-style-type: none"> ・傾聴講座 ・車いす体験、アイマスク体験 ・車いすツインバスケットボール体験 ・高齢者体験 ・ガイドヘルプ体験 ・盲導犬ユーザーとの出会い学習 ・ろう者との出会い学習 ・認知症サポーター養成講座
久居	11	小学生 高校生	<ul style="list-style-type: none"> ・車いす体験、視覚障がい体験 ・妊婦疑似体験 ・点字体験 ・ユニバーサルデザイン講座
河芸	2	小学生	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者体験 ・アイマスク体験
芸濃	4	小学生 地域住民	<ul style="list-style-type: none"> ・「サロン」ってどんなところ？ ・車いす体験、アイマスク体験 ・車いすツインバスケットボール体験 ・パラスポーツライフル射撃選手との出会い学習
安濃	5	小学生	<ul style="list-style-type: none"> ・講話「ふくし はじめの一步」 ・車いす体験、アイマスク体験 ・車いすツインバスケットボール体験 ・福祉学習のふりかえり
香良洲	2	小学生	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン講座 ・聴覚障がいのある方との出会い学習

一志	3	小学生 高校生	<ul style="list-style-type: none"> ・講話「ボランティアとは」 ・車いす体験、アイマスク体験 ・バリアントール体験
白山	5	小学生 地域住民	<ul style="list-style-type: none"> ・車いす体験 ・アイマスク体験 ・視覚障がいのある方との出会い学習 ・車いすでの学習体験
美杉	2	小学生 中学生	<ul style="list-style-type: none"> ・車いす体験 ・視覚障害や盲導犬についての講座

イ 福祉教育推進会議

地域の実状に応じた福祉教育推進会議を開催し、学校関係者との連携の強化に努めました。

地域	開催日	開催方法	質問票回答校数又は参加校数
津	2月13日(月)	訪問	訪問校数：2校 (小学校1校、高等学校1校)
久居	4月14日(木)	会議形式	参加校数：10校 (小学校7校、中学校3校)
	4月～6月	訪問形式	訪問校数：3校 (高等学校2校、特別支援学校1校)
河芸	6月27日(月)	会議形式	参加校数：5校 (小学校4校：中学校1校)
芸濃	5月27日(金) 2月10日(金)	オンライン	参加校数：3校 (小学校2校、中学校1校)
美里			参加校数：1校 (義務教育学校1校)
安濃			参加校数：5校 (小学校4校、中学校1校) ※2回目は小学校3校、中学校1校
香良洲	4月28日(木)	会議形式	訪問校数：2校 (小学校1校、中学校1校)
一志	—	質問票	回答校数：4校 (小学校2校、中学校1校、高等学校1校)
白山	5月	訪問形式	訪問校数：7校 (小学校5校、中学校1校、高等学校1校)

美杉	5月 2日 (月)	訪問形式	訪問校数：2校 (小学校1校、中学校1校)
	5月 16日 (月)		

ウ 福祉協力校推進事業

体験学習やボランティア活動を通じて社会福祉への理解と関心を深めるため、津市内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校を対象とし、申請があった学校を「福祉協力校」に指定して助成金を交付しました。指定を受けた学校は、社会福祉に関わる活動に取り組み、社会福祉への理解と関心を高めました。

(単位：校)

	小学校	中学校	高等学校	義務教育学校	特別支援学校	合計
指定校数	46	14	4	2	4	70

※福祉協力校名は、巻末資料のとおりです。(P41～42)

エ 地域を基盤とした福祉教育推進事業

地域における課題を地域住民と共有し、課題の解決に向けて住民と共に学びを深める事業を2つの地域で行いました。

地域	開催日	主な内容
芸濃	10月 7日 (金)	芸濃地域のふくしを考える会に対し、有償ボランティア活動を行っている「ささえあいのふね」の活動見学を支援しました。
	3月 6日 (月)	コミュニティコーピング体験会
香良洲	2月 12日 (日)	子どもたちのボランティア活動体験

5 津市ボランティアセンターの運営

(1) ボランティアセンターの運営

各支部にボランティアセンターの窓口を設置し、ボランティア登録の受け付けやボランティア活動希望者とボランティア依頼者とのコーディネートを行いました。

ア ボランティア活動の相談、調整、登録事業

ボランティアに関する相談やボランティアの登録を受け付け、地域の施設や関係団体からのボランティア活動依頼に対するコーディネートを行いました。

相談件数 延1,460件

登録・把握ボランティア団体数 405団体

ボランティア登録者数 13,097人

イ ボランティア啓発事業

「ぼらん津」、「つ社協だより」を通じてボランティア活動に関する情報提供に努めました。

ウ ボランティア団体との連携

津市ボランティア協議会及び各地区ボランティア連絡会と連携し、ボランティア活動を推進しました。また、津市ユニバーサルデザイン連絡協議会に参画し、ボランティア活動の裾野を広げる取組みとして、企業の社会貢献活動と連携協力して、地域福祉活動を実施しました。

エ ボランティア育成・推進事業

(ア) ボランティア育成講座

ボランティア活動へのきっかけづくりとして、また、各地域で必要とされているボランティアの育成を目的にボランティア講座を開催しました。

支部名	開催日	開催場所	内容、参加者数
全域	9月28日(水)	オンライン開催	視覚障がい者等向け二次元コード「ナビレンス」勉強会 (参加者数：10人)
	2月10日(金) 2月13日(月)	三重県津庁舎	精神保健福祉ボランティア養成講座 (参加者数：11人)
久居	7月15日(金)	津市久居総合福祉会館	こども学習会“まなびば”説明会 (参加者数：22人)
河芸	8月31日(水)	津市河芸ほほえみセンター	傾聴ボランティア講座 (参加者数：16人)
美里	2月24日(金)	津市美里社会福祉センター	「聴く力」～傾聴ボランティア～ (参加者数：24人)
	3月8日(水)		
白山	9月30日(金)	津市白山保健福祉センター	スタスタ大作戦 I N白山(フレイル予防ボランティア講座) (参加者数：27人)
	10月7日(金)		
	1月20日(金)	津市白山保健福祉センター	フォローアップ講座 (参加者数：18人)

(イ) ボランティア交流会

特定のボランティア活動を実施している活動者に焦点を当てて交流会を行うことにより、地域に必要な分野のボランティア活動を推進しました。

支部名	開催日	開催場所	内容、参加者数
一志	3月17日(金)	津市とことめの里一志	活動状況報告、意見交換、保険案内等 (参加者数：15人)

オ ボランティア活動保険等の窓口業務

安心してボランティア活動が行えるように「ボランティア活動保険」及び「ボランティア行事用保険」を周知・啓発し、保険への加入を斡旋しました。

保険関係手続 630件

(2) 災害ボランティアセンターの基盤整備、周知・啓発及び災害ボランティアの登録

ア 災害ボランティアセンター設置・運営訓練

津・伊賀・名張ブロックの社会福祉協議会が合同で災害ボランティアセンターの初動行

程を確認する訓練を実施しました。

開催日：令和5年2月6日(月)

開催場所：津センターパレス

参加者数：11人

イ 津市との災害ボランティアセンターに関する連携

災害ボランティアセンターの協定事項や津市地域防災計画、設置運営訓練等について、津市市民部地域連携課と協議を行いました。「津市災害ボランティアセンター設置に係る連携フロー(図)」を共同で作成しました。

ウ 災害ボランティアの事前登録制度の運用

平常時から災害に備えるとともに、災害時には関係機関と連携・協働し、災害ボランティア活動による被災地支援が行えるように災害ボランティアの事前登録を行いました。

登録者数：個人登録 100人、団体登録 5団体(55人)

エ 他機関との連携強化

新たに2つの企業と包括連携協定を締結し、災害時も含めて相互にできることを確認しました。

6 一般介護予防事業(津市受託)

高齢者に対して介護予防や閉じこもり予防のための教室を開催し、地域で自立した生活ができるように支援しました。

ア 転倒予防教室

転倒予防の体操や講話等を実施し、転ばない体づくりを学び、寝たきりになることを予防するための転倒予防教室を開催しました。

開催回数	26回
参加者数	773人

※開催地域及び参加者数については、巻末資料のとおりです。(P42)

イ 認知症予防教室

認知症予防の講話やレクリエーション、創作活動等を実施し、認知症の予防についての理解を深めるとともに、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりに向けて、認知症予防教室を開催しました。

開催回数	28回
参加者数	485人

※開催地域及び参加者数については、巻末資料のとおりです。(P42~43)

ウ 家族介護教室

家族を介護している方、また介護に関心のある方を対象に、介護の知識やリフレッシュ方法を学び、孤立を防ぐための家族介護教室を開催しました。

開催回数	5回
参加者数	41人

※開催地域及び参加者数については、巻末資料のとおりです。(P43)

エ 元気アップ教室

参加希望者を対象に、体力向上、介護予防の健康教育の取組みを通じて、要介護状態等

になることを予防し、また、参加者自らが地域の活動に参加し、介護予防に取り組めるように支援する「元気アップ教室（Aコース・Bコース）」を各教室10回（6月～3月）開催しました。

開催場所	年間参加者数（人）	
	Aコース	Bコース
津市北部市民センター	146	175
津センターパレス	102	160
津市河芸ほほえみセンター	106	111
津市とことめの里一志	213	—
津市波瀬ふれあい会館	—	157
津市白山保健福祉センター	212	143
津市美杉高齢者生活福祉センター	43	99
合計	822	845

7 地域福祉推進事業

（1）外出支援サービス事業

単独で外出することや公共交通機関の利用が困難な障がい者、高齢者等に対し、通院や社会参加等のための外出支援を行いました。

利用回数	実利用者数
307回	110人

（2）配食サービス事業（津市受託）

美杉地域において、概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯で、心身の障がい及び傷病によって調理が困難な方を対象に、栄養バランスのとれた弁当を配達するとともに安否確認を行い、安心した在宅生活が送れるように支援しました。

	利用者数（人）	配食数（件）	稼働日数（日）
年間	189	1,940	268
月平均	15.75	161.67	22.33

（3）心配ごと相談事業

複雑・多様化する地域住民からの相談に対し、弁護士による法律相談を本部・各支部で実施しました。また、本部では司法書士及び行政書士による専門相談も実施しましたが、他に同様の相談事業が実施されていること等から、経営改善等に関する方針に基づき、司法書士及び行政書士による専門相談は令和4年9月末日、弁護士による法律相談は令和5年3月末日をもって終了しました。

事業種別	弁護士相談	司法書士相談	行政書士相談
相談所開設回数（回）	50	6	6
利用者数（人）	235	80	13

(4) 声の広報等発行事業（津市受託）

津市在住の視覚に障がいがある方等を対象に、社会活動への参加及び自立を促進するため、ボランティアグループ「津朗読会」の協力を得て、日常生活に関する情報をCDに録音し、声の広報を希望される方に配付しました。配付することにより、視覚に障がいがある方へ地域の情報を広く発信することができました。

ア 発行物及び回数

発行物	発行回数（回）	対象者数（人）
広報津	24	38（延560）
つ市議会だより	4	24（延90）
つ社協だより	4	35（延106）
暮らしの情報	7	35（延206）

イ 声の広報発行事業の充実

研修名	開催日	開催場所	内容、参加者数
音声訳入門講座	5月11日（水） 5月18日（水） 5月25日（水） 6月1日（水） 6月8日（水） 6月15日（水） 6月22日（水） (全7回)	津センターパレス	音声訳ボランティアを増やすため、音声訳の入門講座を開催しました。講座終了後、参加した15人が「津朗読会」に入会しました。 (参加者数：15人)
音声訳技術向上のための自主研修会	4月6日（水） 6月1日（水） 7月6日（水） 9月7日（水） 10月5日（水） 11月2日（水） 12月7日（水） 2月1日（水） 3月1日（水） (計9回)	津センターパレス	経験が浅い「津朗読会」の会員に対し、音声訳技術の向上を図るための研修会を開催しました。 (参加者数：延40人)

ウ 点字シール作成

ボランティアグループ「津点訳友の会」の協力を得て、視覚に障がいのある方への支援として、津市が送付する通知文書（封筒）の郵送用点字シールを作成しました。

依頼回数	7回
点字シール数	1,000枚

(5) 敬老事業

各地区社協が実施する敬老事業について、津市敬老事業実施要領に基づき、技術的な助言や実施のための支援を行いました。また、複数年計画で大規模な敬老事業を実施する7つの地区社協（育成、一身田、藤水、安濃、村主、草生、明合）については、交付金に係る事務を行いました。

(6) 津市社会福祉大会

多年にわたり社会福祉事業に尽力された個人や団体・企業の顕彰と記念講演を津市との共催で開催しました。

また、障がい者支援事業所の協力を得て、利用者の作品等のブースを設け、障がい者支援事業所の啓発と障がいへの理解を図りました。

開催日：令和5年1月26日（木）

会場：津市白山総合文化センター

参加者数：240人

顕彰：市長表彰（民生委員・児童委員功労者） 3人

（社会福祉活動功労者） 2人

会長表彰（社会福祉活動功労者） 24人

（社会福祉活動優良団体） 2団体

市長感謝（社会福祉事業協力援助者） 4団体、5企業

会長感謝（社会福祉事業協力援助者） 3人、3団体、6企業

記念講演：演題 「実り多い豊かな人生 私は創造的でありたい。

～人生100年時代を生きるということについて～

講師 若宮正子 氏

8 福祉団体等への支援

(1) 福祉団体支援事業

ア 津市地区社協連絡協議会及び地区社協への支援

地区社協相互の情報交換や活動の推進に取り組む津市地区社協連絡協議会の運営及び活動を支援しました。

また、地域の特性に応じた福祉活動に取り組む津市内43の地区社協の支援を行いました。

イ 津市民生委員児童委員連合会及び地区民生委員児童委員協議会への支援

津市民生委員児童委員連合会の事務を支援するとともに、三役会、会長会議及び研修会等に参加・協力し、情報共有と連携強化に努めました。

各地区民生委員児童委員協議会に対しては、定例会等に参加し、地域の生活課題や福祉活動の状況等について情報共有を行い、相互に連携を図りながら、地域福祉活動の推進に努めました。

ウ その他の福祉団体への支援

地域を基盤とした福祉団体の活動を支援するとともに、連携・協働し、地域福祉の推進

に取り組みました。

また、津市老人クラブ連合会については、高齢者の生きがいきづくりや介護予防が促進されるように、事務を中心に支援し、第1回目となるグラウンドゴルフ大会の実施を支援しました。

(2) 赤い羽根共同募金運動への支援・協力

社会福祉法人三重県共同募金会を支援し、津市共同募金委員会が実施する「赤い羽根共同募金運動」に協力しました。

「赤い羽根共同募金運動」では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施した上で、各家庭からの戸別募金、企業や事業所からの法人募金、官公庁や企業の職員からの職域募金、小学校、中学校、高等学校等における児童・生徒からの学校募金、駅前等での街頭募金等、様々な共同募金運動を各地域で行いました。

また、羽毛製品のリサイクルに係る収益金の一部が募金される「UMOUプロジェクト」を進めていましたが、その取組みを基礎として、新たに津市と「カーボンニュートラルの実現に向けた羽毛製品リサイクルの推進に関するパートナーシップ協定」を締結し、取組みを推進することができました。

ア 令和4年度赤い羽根共同募金運動の実績

目標額：38,689,800円

実績額：37,920,180円（達成率 98.01%）

イ 運営委員会の開催

回数	開催日	協議事項
第1回	6月14日（火）	・会長・副会長の選任について ・決算書・予算書について ・令和3年度（4年度充当）配分結果について ・審査委員会について ・令和5年度充当津市共同募金配分助成金について
第2回	8月29日（月）	・令和4年度津市共同募金委員会目標額について ・令和4年度津市共同募金委員会運動計画について
第3回	3月2日（木）	・副会長の選任について ・令和4年度実績報告について ・共同募金と寄附について

ウ 審査委員会の開催

会議名	開催日	協議事項
津市共同募金委員会審査委員会	6月24日（金）	・審査委員長の選任について ・申請内容の審査について ・審査結果、意見について ・評価票等の確認 ・今後の方向性（使途制限等の確認）

エ 監査の開催

会議名	開催日	監査事項
津市共同募金委員会監査	4月22日(金)	・令和3年度津市共同募金委員会会計決算の監査

(3) 共同募金配分金事業

地域で協力いただいた赤い羽根共同募金を配分金として、地域福祉推進のために実施する地区社協及び福祉団体の事業に助成を行いました。

地区社協 21,928,814円

福祉団体等(32団体) 3,004,537円

※上記の金額は、申請に基づいた配分額であり、事業変更による返還分等は含んでいません。

9 管理運営事業

(1) 津市まん中老人福祉センター事業(津市受託)

津市まん中老人福祉センターの管理運営を通じ、高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーションの場を提供しました。

また、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染防止対策として、利用時の検温や手指消毒、マスク着用等の基本的な感染予防を徹底したほか、密を避けるため利用人数の制限を行う等、新しい生活様式を取り入れた運営に努めました。

ア 開館日数 : 293日(月～土曜日) 休館:日曜・祝日・年末年始

イ 利用者総数: 7,154人(1日平均 24.4人)

ウ 利用内訳 : ・教養娯楽室(ヘルストロン、マッサージ機他) 延5,940人
 ・相談室(囲碁・将棋) 延499人
 ・集会室(卓球) 延551人
 ・カラオケ室(カラオケ) 延948人
 ・和室(休憩・歓談) 延85人
 ・まん中さわやか教室(10回、毎月第1火曜日) 延27人
 ・けんこうチェック(看護師相談20回、毎月第1・3火曜日) 延55人

(2) 生活支援ハウス運営事業(津市受託)

美杉生活支援ハウスにおいて、津市内に住所を有する高齢者に対し、住居機能や生活支援、交流の機会を提供することで、健康で明るい生活が送れるように支援しました。

利用者数:月平均6人

III 生活支援事業

1 日常生活自立支援事業（県社協受託）【重点目標4関係】

津日常生活自立支援センターとして、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等の判断能力が十分でない方を対象に、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理等の援助を行いました。また、事業の拠点化により、専任の職員による支援体制の構築に努めました。

ア 支部別利用者数及び支援回数

	生活支援課	久居	合計
利用者数（人）	265	103	368
年間支援回数（回）	7,710	1,947	9,657

イ 相談件数（問い合わせ・初回相談・相談援助）

（単位：件）

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
問い合わせ	96	34	62	11	203
初回相談	76	22	32	3	133
相談援助	1,924	2,020	4,404	5	8,353
合計	2,096	2,076	4,498	19	8,689

ウ 三重県社会福祉協議会主催の研修会等への参加

研修名	開催日	開催場所	内容、参加者数
新任専門員研修会	5月19日（木）	オンライン開催	・事業の概要 ・専門員の業務内容・実務について (参加者数：職員2人)
第1回専門員情報・意見交換会	8月31日（水）	オンライン開催	・情報・意見交換 (参加者数：職員3人)
第2回専門員情報・意見交換会	10月28日（金）	オンライン開催	・情報・意見交換 (参加者数：職員3人)
第3回専門員情報・意見交換会	12月5日（月）	オンライン開催	・情報・意見交換 (参加者数：職員3人)
生活支援員等研修会	12月13日（火）	三重県総合文化センター	・講義「いつもと違う“きざし”を見逃さないことの意義と方法」 (参加者数：職員15人)

専門員実践力 向上研修	2月24日(金)	三重県総合文化 センター	・講義「債務整理の基礎知識と法律家 との連携について」 (参加者数：職員3人)
----------------	----------	-----------------	---

2 生活困窮者自立相談支援事業（津市受託）【重点目標4関係】

複合的な課題を抱えた方の相談に応じ、各々の抱える課題を包括的に把握するとともに、その置かれている状況や本人の意思を十分に確認し、一人ひとりの状況に合わせた支援計画を作成しました。専門の支援員が寄り添いながら、関係機関等と連携して、問題解決に向け支援を行いました。

また、地域全体での支援体制づくりの推進に向け、関係機関に事業説明を行い、周知を図りました。

ア 支援件数

延相談件数	新規相談実人員数	プラン作成件数
3,898件	398人	47件

イ 総合支援資金コロナ特例貸付にともなう相談支援件数（単位：件）

特例貸付者相談件数	68
-----------	----

ウ 全国・県・市等の関係機関研修会への参加

研修名	開催日	開催場所	内容、参加者数
就労支援研修会	6月10日(金)	三重県講堂棟	・発達障がいをお持ちの方への就 労支援について ・日頃の就労支援で思うこと (参加者数：職員1人)
津地域生活保護 受給者等就労自 立促進事業協議 会	6月16日(木)	津公共職業安定 所	・令和3年度の支援概況について ・令和4年度の目標設定について (参加者数：職員2人)
ひきこもり地域 支援センター職 員等への人材養 成研修	7月28日(木) ～29日(金)	オンライン開催	・国の施策や予算等政策動向 ・ひきこもりについての基本的な 理解 等 (参加者数：職員1人)
生活困窮者等を 対象とした各種 支援制度にかか る共同研修	8月29日(月) 8月30日(火) 9月12日(月)	津公共職業安定 所	・ハローワーク、津市援護課、津 市子ども支援課、津市社会福祉 協議会の各種支援制度について (参加者数：職員4人)

令和4年度 相談窓口対応力向上研修会	9月6日(火)	オンライン開催	講演 心の健康にかかわる相談窓口の弱点とは何かー日本で最も自殺の少ない町で気づいたことー (参加者数：職員1人)
三重県中勢伊賀地域ひきこもり支援ネットワーク会議	9月30日(金)	三重県津庁舎	・ひきこもり家族支援について (参加者数：職員1人)
自立相談支援事業従事者養成研修(相談支援員養成研修)	視聴期間 9月21日(水) ～11月30日(水)	オンライン開催	(視聴期間内での動画研修) ・制度の概要と目標、基本理念 ・相談支援員の役割と個別支援の基本 等 (参加者数：職員1人)
自立相談支援事業従事者養成研修(相談支援員養成研修)	10月21日(金)	オンライン開催	(講義、演習) ・相談支援の展開 (参加者数：職員1人)
緊急小口資金等特例貸付 償還猶予に係る説明会	12月6日(火)	オンライン開催	・特例貸付の償還猶予の概要について ・特例貸付の償還猶予の手続きについて ・質疑 (参加者数：職員1人)
生活困窮者自立支援制度東海・北陸ブロック別研修会	12月22日(木) ～23日(金)	オンライン開催	(講義、グループワーク) ・生活困窮者自立支援制度の理念、基本姿勢 等 ・任意事業との連携 (シンポジウム、グループワーク) ・コロナ禍における相談支援の今 ・困窮者支援におけるアウトリーチについて (参加者数：職員1人)
生活困窮者自立支援制度に係る主任相談支援員意見交換会	2月9日(木)	オンライン開催	・コロナ禍以降の自立相談支援について ・支援員の育成について (参加者数：職員1人)

エ 事業啓発活動

研修名	開催日	開催場所	内容、参加者数
津北部西地域包括支援センター地域ケア会議	4月26日(火)	津市安濃中央公民館	・住宅ローンの支払いが難しい高齢女性の支援について (参加者数：9人)
津中部東地域包括支援センター地域ケア会議	5月27日(金)	橋南市民センター	・アパートの退去を迫られている障がいのある高齢男性の支援について (参加者数：7人)
生活支援事業意見交換会(生活困窮者自立相談支援事業)	6月24日(金)	津市久居総合福祉会館	・制度、関係事業について ・相談・支援事例の検討、意見交換 (参加者数：5人)
地域包括支援センター職員研修(社会福祉士部会)	8月23日(火)	津リージョンプラザ	・津市における生活困窮者自立支援事業について (参加者数：23人)
津中部南地域包括支援センター地域ケアネットワーク会議	8月31日(水)	高茶屋市民センター	・生活困窮者世帯への支援について (参加者数：21人)
津中部南地域包括支援センター地域ケアネットワーク会議	9月7日(水)	雲出地区防災コミュニティセンター	・生活困窮者世帯への支援について (参加者数：27人)
津市生活困窮者自立相談支援事業&津市障害者相談支援事業勉強会	11月7日(月) 11月9日(水)	津センターパレス	・事業説明 ・事例検討 (参加者数：7人)
皇學館大学全学部共通科目「人生と仕事Ⅰ」	11月16日(水)	皇學館大学	・津市社会福祉協議会について ・生活困窮者自立相談支援事業について (参加者数：65人)
令和4年度食料配布及び生活相談事業	12月16日(金) 12月18日(日)	津センターパレス	・ひとり親家庭又はその支援者200組程度に食料配布及び生活相談対応 (参加者数：50人)

津中央地域包括支援センター地域ケア会議	12月19日(月)	津市地域障がい者相談支援センター	・支援困難ケースの検討について (参加者数：6人)
津市基幹障がい者相談支援センター第3回人材育成研修	1月16日(月)	津市中央公民館	・生活困窮者自立支援制度について等 (参加者数：25人)
津北部西地域包括支援センター地域ケア会議	1月27日(金)	津リージョンプラザ	・個別ケースの検討について (参加者数：15人)
津市民間賃貸住宅相談会	1月28日(土)	津リージョンプラザ	・住まい探しの困りごとの相談 ・福祉相談ブース出展 (参加者数：4人)
津中部南地域包括支援センター地域ケア会議	3月28日(火)	城山会館	・認知機能の低下により年金をすぐに使い切ってしまう生活が立ち行かなくなるケース (参加者数：7人)

オ アンケート調査協力

内容	依頼先
居住支援法人アンケート	三重県県土整備部住宅政策課
生活困窮者自立支援法等に基づく各事業の令和3年度事業実績調査	三重県子ども・福祉部地域福祉課
住まいと生活支援の一体的支援に関する取組の普及啓発等事業アンケート調査	厚生労働省老健局高齢者支援課
令和4年度厚生労働省社会福祉推進事業 タイムスタディ調査等による自立相談支援機関等の業務実態調査	一般社団法人北海道総合研究調査会
居住支援協議会補助事業 事業実施報告	三重県県土整備部住宅政策課
多重債務者相談件数調査	三重県環境生活部くらし・交通安全課
ひきこもり支援に関するアンケート調査	津市健康福祉部援護課(相談・支援担当)
ヤングケアラーに関するアンケート調査	三重県子ども・福祉部地域福祉課
「三重県ひきこもり支援推進計画」最終案に掲げる数値目標 ※回答者は津市援護課	三重県子ども・福祉部地域福祉課 三重県子ども・福祉部地域共生社会推進監

3 生活困窮者家計改善支援事業（津市受託）

家計に問題を抱えている生活困窮者等からの相談に応じ、必要な情報提供や専門的な助言・指導等を行い、早期に家計が改善されるように支援しました。

また、自立支援機関等の関係機関と連携し、相談者の課題解決に向け共に取り組みました。

ア 支援件数 (単位：件)

申込件数	プラン作成件数	支援終了件数	継続支援件数
19	17	6	23

イ 支援回数 (単位：回)

来所	訪問	電話	合計
113	157	202	472

ウ 三重県の研修会への参加

研修名	開催日	開催場所	内容、参加者数
令和4年度第8回消費生活相談員等勉強会	11月22日(火)	オンライン開催	・個人情報情報・個人情報情報機関の概要およびCRIN・FINE交流情報について (参加者数：職員1人)
令和4年度第9回消費生活相談員等勉強会	12月21日(水)	オンライン開催	・多重債務・金融トラブル防止について (参加者数：職員1人)

4 成年後見サポートセンター事業（津市受託）【重点目標4関係】

認知症や障がいがあっても住み慣れた地域で安心した生活が送れるように、成年後見制度に関する相談に対応し、成年後見制度を利用するための手続き、申立の援助、法人後見事務を行いました。

また、今年度から成年後見制度利用促進法に基づいた中核機関業務を追加受託し、後見人支援や権利擁護における地域連携ネットワーク体制の強化を図りました。

ア 相談援助及び普及啓発の状況 (単位：件)

相談援助	申立援助 (実件数)	普及啓発活動 (中核機関含む)	法人後見人等受任
558	39	11	8 (後見人3、保佐人3、補助人2)

イ 後見人支援及び地域連携ネットワーク体制づくりの状況

(単位：件)

後見人支援 (延件数)	地域連携ネットワ ーク体制づくり
63	33

ウ 津市成年後見サポートセンター運営委員会及び小委員会

回数	開催日	審議事項及び協議事項
第1回 運営委員会	5月19日(木)	・法人後見受任審議について (出席委員：13人)
第2回 運営委員会	8月25日(木)	・法人後見人等計画書について ・法人後見事業実施要綱一部改正案について ・法人後見事業申し合せ事項一部改正案について (出席委員：12人)
第3回 運営委員会	11月24日(木)	・法人後見保佐人辞任審議について ・津市地域連携ネットワーク会議設置について (出席委員：13人)
第1回 小委員会	2月21日(火)	・法人後見受任審議について (出席委員：6人)

5 生活福祉資金貸付事業（低所得者支援事業）（県社協受託）

低所得世帯・高齢者世帯・障がい者世帯に対する生活福祉資金の貸付と、民生委員・児童委員の協力による必要な援助指導を行い、安定した生活を送れるように支援しました。

新型コロナウイルス感染拡大にともなう特例貸付の受け付けが終了し、利用に関する相談件数及び貸付件数は、前年度に比べて減少しましたが、貸付申請受け付け終了後も生活費の借入相談が依然として多い状況です。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯からの教育支援資金等の相談支援についても、民生委員・児童委員との有機的な連携を通じて、効果的に行うことができました。

ア 通常相談件数及び貸付件数（単位：件）

相談件数	217
貸付件数	82

※地域別の相談件数及び貸付件数は、巻末資料のとおりです。（P43）

イ コロナ特例貸付相談件数及び貸付件数（単位：件）

相談件数	264
貸付件数	133

※地域別の相談件数及び貸付件数は、巻末資料のとおりです。（P43）

ウ 三重県社会福祉協議会主催の研修会へ参加

研修名	開催日	開催場所	内容、参加者数
生活福祉資金貸付事業担当職員研修会	5月31日(火)	オンライン開催	<ul style="list-style-type: none"> 生活福祉資金コロナ特例貸付償還事務について 生活福祉資金貸付事務について(新任職員向け) (参加者数：職員4人)
緊急小口資金等特例貸付債権管理体制整備説明会	10月18日(火)	オンライン開催	<ul style="list-style-type: none"> 生活福祉資金コロナ特例貸付制度債権管理体制について (参加者数：職員1人)
緊急小口資金等特例貸付償還猶予説明会	12月6日(火)	オンライン開催	<ul style="list-style-type: none"> 生活福祉資金コロナ特例貸付制度償還猶予申請について (参加者数：職員2人)
生活福祉資金市区町村連携システム説明会	1月27日(金)	オンライン開催	<ul style="list-style-type: none"> 生活福祉資金貸付事業における債権管理等情報共有システムについて (参加者数：職員2人)

エ 事業啓発活動

研修名	開催日	開催場所	内容、参加者数
津市民生委員児童委員連合会会長会議	5月19日(木)	サン・ワーク津	<ul style="list-style-type: none"> 生活福祉資金貸付事業について
各地区民生委員児童委員協議会定例会	7月4日(月) 7月5日(火) 7月7日(木) 7月13日(水) 8月4日(木) 8月24日(水) 9月6日(火) 10月1日(土) 1月7日(土) 1月13日(金) 1月19日(木) 1月22日(日) 2月4日(土) 2月5日(日) 2月16日(木) 2月18日(土)	香良洲地区 南郊第1地区 橋北地区 修成地区 安濃地区 橋内地区 南郊第2地区 西郊第1地区 西郊第2地区 豊里地区 芸濃地区 久居地区 一身田地区 北郊地区 白山地区 育生地区	<ul style="list-style-type: none"> 生活福祉資金貸付事業について

	2月24日(金) 3月7日(火) 3月15日(水) 3月15日(水) 3月28日(火)	美里地区 敬和地区 一志地区 美杉地区 橋北地区	
福祉教育推進事業教育資金説明会	8月23日(火)	オンライン開催	・教育資金について
学校へ行こう！ in津市	9月24日(土)	津市中央公民館	・教育資金について
令和4年度津市民生委員・児童委員新任研修会	12月19日(月)	津市白山総合文化センター	・生活福祉資金貸付事業について

オ 調査協力

内容	依頼先
生活福祉資金借受世帯支援記録票整備状況報告	厚生労働省 全国社会福祉協議会
コロナ特例貸付に対する社会福祉協議会の取り組み実態等に関する調査	全国社会福祉協議会
外国人へのコロナ特例貸付の実態に関する調査	明治大学 小関隆司 教授 佛教大学キャリアサポートセンター 佐藤 順子 講師

6 生活困窮者対策支援事業

生活困窮世帯（緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった世帯）に、生活に必要な食糧や消耗品等を提供することで、生活再建への支援を行いました。

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯から、食糧や物品等の支援について多くの依頼が寄せられています。

また、生活福祉資金貸付事業と連携し、貸付決定までの一時的な生活維持を本事業にて図ることができました。

件数	(単位：件)
緊急食糧提供事業	231
緊急時物品等支援事業	13
就労活動支援事業	0

※地域別の緊急食糧提供件数は、巻末資料のとおりです。(P44)

IV 介護サービス事業

1 介護保険サービス

(1) 居宅介護支援事業

北部事業所、白山事業所、美杉事業所において、介護サービス利用者の介護状態に応じて、利用者や家族の意向に沿った居宅サービス計画を作成しました。

ア 事業所別居宅サービス計画作成件数 (単位：件)

	北部	白山	美杉	合計
居宅サービス計画	1, 520	2, 155	1, 638	5, 313
介護予防サービス計画	312	374	92	778
合計	1, 832	2, 529	1, 730	6, 091
介護支援専門員 1人当たりの担当件数	30.5	32.4	28.9	30.6

イ 介護度別利用件数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援	合計
利用件数 (件)	2,221	1,351	899	549	293	778	6,091
割合 (%)	36.5	22.2	14.7	9.0	4.8	12.8	100

(2) 訪問介護事業

北部事業所、白山事業所において、津市全域を対象に、利用者の自立に向けた支援として、身体介護や生活援助のサービスを実施しました。

事業所の参入が少ない地域へは、積極的な支援継続に努めました。

ア 事業所別利用延回数 (単位：回)

	北部	白山	合計
要介護	6, 546	9, 494	16, 040
要支援	355	498	853
合計	6, 901	9, 992	16, 893

イ 介護度別利用延回数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援	合計
利用回数 (回)	5,691	2,770	2,879	2,851	1,849	853	16,893
割合 (%)	33.7	16.4	17.0	16.9	10.9	5.1	100

(3) 通所介護事業

ア 美杉事業所において、地域密着型通所介護事業所として、日常生活上の支援や生活行為

向上のための支援を日帰りで提供しました。

美杉事業所では、経営改善のための事業の見直しを行った結果、地域内に他の通所介護事業所もあり、利用者の利便性を損なうことも無いと判断したため、令和5年3月31日をもって事業所を休止することになりました。

(ア) 事業所別利用延回数

	美杉
要介護 (回)	206
要支援 (回)	90
合計 (回)	296
事業日数 (日)	96
1日の平均利用者数 (人)	3.1

(イ) 介護度別利用延回数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援	合計
利用回数 (回)	32	81	62	31	0	90	296
割合 (%)	10.8	27.4	20.9	10.5	0	30.4	100

2 障がい福祉サービス

(1) 障がい者相談支援事業 (特定相談支援事業)

障がいのある方の自立した生活を支えるため、サービス等利用計画書を作成し、福祉サービス利用の支援を行いました。

契約件数等 (単位：件)

契約件数	16
計画作成件数	97
モニタリング件数	100

(2) 障がい者居宅介護等事業

ア 介護給付事業

北部事業所、白山事業所において、障がいのある方が住み慣れた地域で自分らしい自立した生活が送れるように、居宅介護・同行援護の支援を行いました。

外出時の介助を行う同行援護については、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底して外出の支援を行いました。

事業所別利用延回数 (単位：回)

	北部	白山	合計
居宅介護	2,025	1,022	3,047
同行援護	611	12	623

合計	2,636	1,034	3,670
----	-------	-------	-------

イ 地域生活支援事業（市町受託）

北部事業所、白山事業所において、障がいのある方に外出のための移動支援を行いました。

公共交通機関を使用する機会が多い移動支援は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、支援を中止することもありました。

事業所別利用延回数 (単位：回)

	北部	白山	合計
移動支援	36	724	760

3 地域包括支援センター事業（津市受託）【重点目標4関係】

津北部東及び津一志地域包括支援センターにおいて、高齢者が住み慣れた自宅や地域で生活できるように、介護・福祉・保健・医療等の関係機関や地域の関係者と連携を強化し、包括的な支援に努めました。

また、研修や会議はできる限りオンラインにて開催し、どうしても集まる必要のある地域ケア会議等は少人数で開催しました。

(1) 相談件数

ア 内容別相談件数 (単位：件)

	総合相談	介護相談	介護保険サービス		その他のサービス	ケアマネジメント等	虐待・権利擁護	その他	合計
			介護	予防					
津北部東	1,179	19	22	3	3	0	4	12	1,242
津一志	1,192	13	1,088	156	82	31	6	9	2,577
合計	2,371	32	1,110	159	85	31	10	21	3,819

イ 形態別相談件数 (単位：件)

	来所	訪問	電話	その他	合計
津北部東	194	272	761	15	1,242
津一志	174	835	1,515	53	2,577
合計	368	1,107	2,276	68	3,819

(2) 会議等による地域連携・多職種連携等の件数

(単位：件)

	地域ケア会議	地域連携会議	多職種連携会議	介護支援専門員支援研修等	その他	合計
津北部東	14	0	0	3	40	57

津一志	14	19	0	2	25	60
合計	28	19	0	5	65	117

(3) 介護予防プラン作成件数 (単位：件)

	作成件数	委託件数	合計
津北部東	526	1,501	2,027
津一志	1,009	2,533	3,542
合計	1,535	4,034	5,569

4 要介護認定調査事業（津市受託）

(1) 介護保険要介護（要支援）認定調査

津市の指定市町事務受託法人として、調査の正確性や公平性の確保に努め、津市全域の認定調査を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた更新申請の数は徐々に増加傾向にあります。

また、令和5年4月1日以降に有効期間満了日を迎える方は、原則通常通り更新申請を行う必要があることから、今後、津市からの調査依頼件数は急激な増加が見込まれます。

(単位：件)

	件数
津市からの委託	10,621
他市町村及び広域連合	333
合計	10,954

※内90件は他市町村よりの直接依頼分

(2) 認定調査員研修会の開催

研修名	開催日	内容、出席者数
認定調査員現任者研修会	オンライン開催 2月3日(金)～ 3月31日(金)	介護認定審査会の手順とポイント 一次判定ソフトの基本的な構造 認定調査の基本的な考え方 基本調査項目のポイントと疑義への対応 (参加者数：職員22人)

V 収益事業

1 自動販売機の設置

自動販売機の売上による収益は、2,059,212円ありました。収益金は、地域福祉事業の財源に充てるため、社会福祉事業区分へ繰り入れました。

新型コロナウイルス対策の行動制限等の緩和により、当該事業収入は昨年度より増加となりました。

公共施設等への自動販売機の設置 26台(15か所)

<巻末資料>

I 法人運営事業

1 円滑な法人運営

(1) 理事会・評議員会等の開催

P 3

ア 理事会の開催

各理事会における審議事項等

回数	開催日	審議事項等
第1回	5月6日(金) (決議の省略)	・社会福祉法人津市社会福祉協議会第1回評議員会の招集について
第2回	6月3日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人津市社会福祉協議会第1回評議員選任・解任委員会の招集について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会嘱託員就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会津市再任用職員就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会登録ヘルパー就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会登録職員就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会安全衛生管理規程の一部改正について ・令和3年度社会福祉法人津市社会福祉協議会事業報告及び決算報告について ・令和4年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算(第1号)について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会第2回評議員会の招集について
第3回	9月13日(火)	・社会福祉法人津市社会福祉協議会会長の職務執行状況の報告に

		<p>ついて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人津市社会福祉協議会常務理事の職務執行状況の報告について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会第2回評議員選任・解任委員会の招集について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の全部改正について ・令和4年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算(第2号)について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会第3回評議員会の招集について
第4回	12月13日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人津市社会福祉協議会第3回評議員選任・解任委員会の招集について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について ・令和4年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算(第3号)について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会第4回評議員会の招集について
第5回	3月14日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人津市社会福祉協議会会長の職務執行状況の報告について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会常務理事の職務執行状況の報告について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会副会長の選任について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会福祉サービスに関する苦情解決事業における第三者委員の選任について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会備品管理規程の制定について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会登録ヘルパー就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会登録職員就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会補助金等交付規則の一部改正について

	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人津市社会福祉協議会ストレスチェック取扱規程の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会安全衛生管理規程の一部改正について ・令和4年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算(第4号)について ・令和5年度社会福祉法人津市社会福祉協議会事業計画について ・令和5年度社会福祉法人津市社会福祉協議会当初予算について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会第5回評議員会の招集について
--	--

理事会出席者数

(単位：人)

回数	理事			監事		
	出席者数	欠席者数	欠員数	出席者数	欠席者数	欠員数
第1回	10	0	0	2	0	0
第2回	6	3	1	2	0	0
第3回	9	1	0	2	0	0
第4回	6	2	2	2	0	0
第5回	8	2	0	2	0	0

P 3

イ 評議員会の開催

各評議員会における審議事項等

回数	開催日	審議事項等
第1回	5月24日(火) (決議の省略)	・社会福祉法人津市社会福祉協議会理事の選任について
第2回	6月27日(月)	・社会福祉法人津市社会福祉協議会理事の選任について ・令和3年度社会福祉法人津市社会福祉協議会事業報告及び決算報告について ・令和4年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算(第1号)について
第3回	9月27日(火)	・令和4年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算(第2号)について
第4回	12月23日(金)	・社会福祉法人津市社会福祉協議会理事の選任について ・令和4年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算(第3号)について

第5回	3月23日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算(第4号)について ・令和5年度社会福祉法人津市社会福祉協議会事業計画について ・令和5年度社会福祉法人津市社会福祉協議会当初予算について
-----	----------	--

評議員会出席者数

(単位：人)

回数	評議員			監事		
	出席者数	欠席者数	欠員数	出席者数	欠席者数	欠員数
第1回	14	0	1	—	—	—
第2回	10	4	1	2	0	0
第3回	11	3	1	2	0	0
第4回	10	4	1	2	0	0
第5回	12	2	1	2	0	0

II 地域福祉事業

4 地域福祉教育推進事業

P16

ウ 福祉協力校推進事業

福祉協力校名

小学校			
養正小学校	一身田小学校	栗葉小学校	明合小学校
修成小学校	白塚小学校	榊原小学校	香良洲小学校
南立誠小学校	栗真小学校	立成小学校	一志東小学校
北立誠小学校	片田小学校	上野小学校	一志西小学校
敬和小学校	大里小学校	黒田小学校	家城小学校
育生小学校	高野尾小学校	千里ヶ丘小学校	川口小学校
新町小学校	西が丘小学校	豊津小学校	大三小学校
藤水小学校	豊が丘小学校	芸濃小学校	倭小学校
高茶屋小学校	誠之小学校	明小学校	八ツ山小学校
神戸小学校	成美小学校	草生小学校	美杉小学校
安東小学校	桃園小学校	村主小学校	
楡形小学校	戸木小学校	安濃小学校	(46校)

中学校		高等学校	義務教育学校
西橋内中学校 南郊中学校 西郊中学校 一身田中学校 一身田中学校国児分校 久居中学校 久居西中学校 久居東中学校 朝陽中学校 芸濃中学校 香海中学校	一志中学校 白山中学校 美杉中学校 (14校)	高田高等学校 久居高等学校 一志学園高等学校 白山高等学校 (4校)	みさとの丘学園 (前期課程) みさとの丘学園 (後期課程) (2校)
			特別支援学校
			かがやき特別支援学校 聾学校 盲学校 稲葉特別支援学校 (4校)

6 一般介護予防事業

P18

ア 転倒予防教室

開催地域及び参加者数

(単位：人)

開催日	開催地域	参加者数	開催日	開催地域	参加者数
4月28日(木)	津	60	9月22日(木)	津	31
5月26日(木)	津	60	10月14日(金)	美里	20
6月2日(木)	香良洲	22	10月27日(木)	津	55
6月3日(金)	河芸	13	11月24日(木)	津	35
6月23日(木)	津	55	11月30日(水)	久居	14
7月7日(木)	香良洲	22	12月14日(水)	久居	15
7月28日(木)	津	36	12月22日(木)	津	40
8月3日(水)	美杉	12	1月18日(水)	美杉	25
8月4日(木)	香良洲	20	1月23日(月)	安濃	19
8月22日(月)	安濃	19	1月26日(木)	津	33
8月25日(木)	津	38	2月16日(木)	津	41
9月1日(木)	香良洲	18	3月3日(金)	芸濃	16
9月6日(火)	一志	17	3月23日(木)	津	37

P18

イ 認知症予防教室

開催地域及び参加者数

(単位：人)

開催日	開催地域	参加者数	開催日	開催地域	参加者数
4月15日(金)	津	18	10月25日(火)	白山	23
5月20日(金)	津	17	11月18日(金)	津	16
5月31日(火)	美里	29	11月25日(金)	芸濃	18

6月16日(木)	白山	17	12月6日(火)	一志	14
6月17日(金)	津	16	12月9日(金)	河芸	14
6月22日(水)	美杉	16	12月16日(金)	津	14
6月23日(木)	安濃	15	1月5日(木)	香良洲	21
7月15日(金)	津	14	1月19日(木)	久居	12
8月19日(金)	津	14	1月20日(金)	津	13
9月8日(木)	芸濃	21	2月6日(月)	河芸	11
9月16日(金)	津	15	2月9日(木)	白山	23
10月6日(木)	香良洲	20	2月10日(金)	津	20
10月11日(火)	一志	17	2月14日(火)	美里	28
10月21日(金)	津	16	3月17日(金)	津	13

P18

ウ 家族介護教室

開催地域及び参加者数

(単位:人)

開催日	開催地域	参加者数	開催日	開催地域	参加者数
8月20日(土)	津	9	12月2日(金)	安濃	4
9月3日(土)	河芸	8	1月19日(木)	白山	5
11月4日(金)	香良洲	15			

III 生活支援事業

5 生活福祉資金貸付事業(低所得者支援事業)

P30

ア 通常相談件数及び貸付件数

(単位:件)

	津	久居	河芸	芸濃	美里	安濃	香良洲	一志	白山	美杉	合計
相談件数	156	32	3	1	2	2	0	3	18	0	217
貸付件数	73	7	0	0	0	0	0	0	2	0	82

P30

イ コロナ特例貸付相談件数及び貸付件数

(単位:件)

	津	久居	河芸	芸濃	美里	安濃	香良洲	一志	白山	美杉	合計
相談件数	219	31	10	0	2	0	0	0	2	0	264
貸付件数	110	17	3	0	0	0	0	0	3	0	133

6 生活困窮者対策支援事業

P 3 2

緊急食糧提供事業地域別件数

(単位:件)

	津	久居	河芸	芸濃	美里	安濃	香良洲	一志	白山	美杉	合計
提供件数	180	35	5	1	0	1	0	0	9	0	231